

当院口腔外科で顎矯正手術（あごの骨に対する咬み合せの手術）

を受けられた患者様へ

東京歯科大学口腔外科

研究代表者：渡邊 章

1. 現在、当院では顎変形症手術を数多く行っており、手術前にはCTやレントゲンを用いて治療計画の立案を行い、安定した医療を提供できていると自負しております。しかしながら、唇顎口蓋裂を伴う顎変形症では、特有な上顎骨形態を有するため手術手技の難易度が上がります。本研究は、唇顎口蓋裂の顎変形症手術をより安全で確実にを行うために手術前に撮影したCTやレントゲンを用いて上顎骨の形態を把握することを目的としています。
以下の内容をご確認ください。
2. 調査の対象となるのは平成12年1月1日から平成27年6月1日までの期間に、当院口腔外科において、骨格性下顎前突症または骨格性上顎後退症と診断され、CT検査と顎矯正手術（あごの骨に対する咬み合せの手術）を受けられた方です。
3. 資料は、個人を特定できる氏名、住所を削除し、対応表は、情報管理者により厳重に管理されます。また、研究者は、特定につながる情報を自由に得ることはできません。
4. 本研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前や個人を特定する情報は公表されることはなく、個人情報を守られます。
5. 本研究は東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ています。
6. 本研究について質問あるいは疑問がある時は、いつでも問い合わせ窓口にご連絡ください。

お問い合わせ先

東京歯科大学口腔外科

研究代表者：渡邊 章

03-5275-1725